



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年2月13日

上場会社名 株式会社エンバイオ・ホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 6092 URL http://enbio-holdings.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西村 実
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 中村 賀一 TEL 03 (5297) 7155
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	1,067	△21.4	△32	—	△44	—	△39	—
26年3月期第3四半期	1,357	—	183	—	166	—	98	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 △36百万円 (—%) 26年3月期第3四半期 105百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	△9.50	—
26年3月期第3四半期	35.48	—

- (注) 1. 平成27年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。
 2. 平成26年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新株予約権は存在するものの、非上場のため期中平均株価が把握できないため記載しておりません。
 3. 当社は、第3四半期の業績開示を平成26年3月期から行っているため、平成26年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率の記載はしておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	2,434	1,375	56.5	331.80
26年3月期	2,220	1,384	62.4	345.31

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 1,375百万円 26年3月期 1,384百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,944	△7.8	38	△83.4	27	△85.5	14	△86.4	3.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期3Q	4,144,200株	26年3月期	4,009,200株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	－株	26年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期3Q	4,114,745株	26年3月期3Q	2,785,000株

(注)当社は、平成25年8月21日付で株式1株につき100株の株式分割を行いました^が、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、平成27年2月13日付にて四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、業績の予想等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益は政府・日銀による経済・金融政策を背景に、円安の影響によりバラツキがあるものの改善傾向を維持し、設備投資も増加する等全体的には緩やかな回復基調となりましたが、個人消費は輸入物価の上昇や消費増税を背景とした国内物価の上昇等により低迷し、国内景気の持ち直しは弱含みで推移する状況となりました。

当社グループの業績に大きな影響を及ぼす不動産市況については、地価の下落基調からの転換も徐々に進んでいるものの、住宅市場においては消費税増税による駆け込み需要の反動減が続いており、新設住宅着工戸数は前年度比減少傾向が続いている等、当社グループを取り巻く環境は懸念材料を抱えた状況で推移してまいりました。

持分法適用会社が事業を展開する中国では、2004年～2013年に実施された中国全土の土壤汚染調査の結果が4月に公表され、7月には土壤汚染調査、対策等の技術ガイドラインが施行されました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,067,260千円(前年同四期比21.4%減)となり、営業損失32,797千円(前年同四半期は営業利益183,671千円)、経常損失44,923千円(前年同四半期は経常利益166,759千円)、四半期純損失39,087千円(前年同四半期は四半期純利益98,808千円)となりました。

以下に各事業セグメントの状況を報告いたします。

① 土壤汚染対策事業

国内につきましては、営業人員の増員、大阪と沖縄での営業拠点の開設、YAMAテック株式会社との資本業務提携等の営業強化を図り、新規顧客の需要開拓に注力してまいりました。こうしたなか売上高は回復基調となり、セグメント損失は第2四半期連結累計期間より改善されました。

中国につきましては、江蘇省内の地方政府及び不動産開発会社からの情報収集と営業活動に注力し、当第3四半期連結累計期間において、調査11件、浄化5件の受注を獲得いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は496,854千円(前年同四半期比46.1%減)となり、セグメント損失は、43,666千円(前年同四半期はセグメント利益135,432千円)となりました。

② 土壤汚染関連機器・資材販売事業

ポンプ類販売およびラジアント社製太陽光発電パネル設置用架台・杭の販売が好調でした。一方、為替が円安に振れたため、収益を下押しいたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は341,267千円(前年同四半期比7.9%増)となり、セグメント利益は、28,880千円(前年同四半期比31.5%減)となりました。

③ ブラウンフィールド活用事業

大手不動産仲介業やクリーニング業界からの情報収集及びグループ会社間の連携を強化して、4物件を購入いたしました。また浄化等が完了した物件と前期販売した物件の残地を計6物件販売いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は229,139千円(前年同四半期比91.6%増)となり、セグメント利益は、11,870千円(前年同四半期比723.0%増)となりました。

また、当社グループの太陽光発電パネル設置用架台・杭の販売で築いた顧客基盤を活かし、ブラウンフィールド活用の一環として、太陽光発電所の建設を行うことといたしました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、2,434,458千円と前連結会計年度末に比べ214,387千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が387,593千円、受取手形及び売掛金が139,778千円減少した一方で、たな卸資産が315,058千円、土地・建物等の取得により有形固定資産が152,622千円、投資その他の資産が投資有価証券の増加等により173,851千円増加したことによるものであります。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末における負債は、1,059,430千円と前連結会計年度末に比べ223,786千円増加いたしました。これは主に子会社の私募債発行により社債が100,000千円、短期借入金が216,000千円、買掛金が71,791千円増加した一方で、1年内返済予定の長期借入金が51,474千円、長期借入金が64,430千円、未払法人税等が63,863千円減少したことによるものであります。

③純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、1,375,028千円と前連結会計年度末に比べ9,398千円減少いたしました。これは主に新株予約権の行使請求に伴う新株発行により資本金が13,500千円、資本準備金が13,500千円増加した一方で、四半期純損失の計上に伴い利益剰余金が39,087千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年10月17日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,074,421	686,828
受取手形及び売掛金	479,168	339,390
たな卸資産	375,501	690,559
その他	51,078	150,134
貸倒引当金	△3,304	△2,335
流動資産合計	1,976,865	1,864,576
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,471	20,507
機械装置及び運搬具(純額)	9,362	12,753
土地	137,164	146,070
建設仮勘定	-	125,710
その他(純額)	1,438	2,018
有形固定資産合計	154,436	307,059
無形固定資産	2,066	2,269
投資その他の資産	86,701	260,552
固定資産合計	243,204	569,881
資産合計	2,220,070	2,434,458
負債の部		
流動負債		
買掛金	221,472	293,264
短期借入金	126,500	342,500
1年内返済予定の長期借入金	127,196	75,722
未払法人税等	66,417	2,554
その他	61,413	66,086
流動負債合計	602,999	780,127
固定負債		
社債	-	100,000
長期借入金	232,644	168,214
その他	-	11,089
固定負債合計	232,644	279,303
負債合計	835,643	1,059,430

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	415,782	429,282
資本剰余金	487,929	501,429
利益剰余金	471,068	431,981
株主資本合計	1,374,780	1,362,692
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	64	△106
繰延ヘッジ損益	47	-
為替換算調整勘定	9,535	12,442
その他の包括利益累計額合計	9,646	12,335
純資産合計	1,384,426	1,375,028
負債純資産合計	2,220,070	2,434,458

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	1,357,801	1,067,260
売上原価	928,031	762,142
売上総利益	429,769	305,118
販売費及び一般管理費	246,098	337,915
営業利益又は営業損失(△)	183,671	△32,797
営業外収益		
受取利息及び配当金	170	236
デリバティブ評価益	1,156	-
保険解約返戻金	1,610	-
為替差益	483	3,968
その他	1,371	1,895
営業外収益合計	4,792	6,100
営業外費用		
支払利息	7,789	4,444
持分法による投資損失	9,465	11,650
その他	4,448	2,130
営業外費用合計	21,703	18,225
経常利益又は経常損失(△)	166,759	△44,923
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	166,759	△44,923
法人税、住民税及び事業税	67,146	4,460
法人税等調整額	804	△10,296
法人税等合計	67,951	△5,836
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	98,808	△39,087
四半期純利益又は四半期純損失(△)	98,808	△39,087

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	98,808	△39,087
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	101	△170
繰延ヘッジ損益	-	△47
持分法適用会社に対する持分相当額	6,163	2,906
その他の包括利益合計	6,264	2,688
四半期包括利益	105,073	△36,398
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	105,073	△36,398
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	土壌汚染 対策事業	土壌汚染関連 機器・資材販 売事業	ブラウンフ ィールド 活用事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	921,916	316,273	119,611	1,357,801	—	1,357,801
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,952	13,167	562	24,681	△24,681	—
計	932,868	329,440	120,173	1,382,483	△24,681	1,357,801
セグメント利益又は損失(△)	135,432	42,139	1,442	179,013	△12,254	166,759

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去△44,059千円及び報告セグメントに帰属しない親会社に係る損益31,805千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	土壌汚染 対策事業	土壌汚染関連 機器・資材販 売事業	ブラウンフ ィールド 活用事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	496,854	341,267	229,139	1,067,260	—	1,067,260
セグメント間の内部売上高 又は振替高	21,253	14,076	259	35,589	△35,589	—
計	518,107	355,344	229,398	1,102,850	△35,589	1,067,260
セグメント利益又は損失(△)	△43,666	28,880	11,870	△2,916	△42,006	△44,923

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去△81,263千円及び報告セグメントに帰属しない親会社に係る損益39,256千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。